



# くまがや 市議会だより

Kumagaya City Council Newsletter

6 月 定 例 会

平成29年8月1日発行

第48号

問い合わせ 熊谷市議会事務局 〒360-8601埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1 ☎048-524-1573(直通)  
E-mail gikaijimukyoku@city.kumagaya.lg.jp http://www.city.kumagaya.lg.jp/shigikai/



本市出身の山沢拓也選手

## グローバル ラグビー フェスタ 2017 埼玉・熊谷 熊谷開催!!

8月11日(金)熊谷スポーツ文化公園において、ジャパンラグビートップリーグのパナソニック ワイルドナイツとニュージーランドの名門チームであるハイランダーズとの国際交流試合が行われます。本市出身の山沢拓也選手の活躍が期待されます。



### 主 な 内 容

- ☆ 平成29年第2回定例会の概要 . . . . . 2～3
- ☆ 審議結果 . . . . . 4
- ☆ 一般質問(要旨)等 . . . . . 5～13
- ☆ 委員会での主な質疑 . . . . . 14～15
- ☆ 次回定例会案内等 . . . . . 16

議会インターネット中継は熊谷市議会ホームページから

熊谷市議会 検索

議会を傍聴しましょう。次の定例会は8月30日からの予定です。



議長に須永宣延議員、副議長に黒澤三千夫議員を選出  
新たに児童クラブを開設するための  
「熊谷市立児童クラブ条例の一部を改正する条例」などを可決

平成29年第2回市議会定例会は、6月2日から6月21日までの20日間を会期として開かれ、215人の方に傍聴にお越しいただきました。この議会では、「平成29年度熊谷市一般会計補正予算」などの市長提出議案25件を審査し、16件を原案可決、7件を承認、2件の人事案件に同意しました。  
また、議員提出議案3件を原案どおり可決し、請願1件について審査しました。  
さらに、6月2日に正副議長の選挙を行い、新しい正副議長を選出しました。

正副議長を選出

6月2日、松本貢市郎議長、野澤久夫副議長の辞職に伴い、正副議長選挙を行いました。

この結果、須永宣延議員が議長に、黒澤三千夫議員が副議長に当選しました。選挙の詳しい結果は、次のとおりです。

◇議長選挙（投票総数29票）

須永 宣延・・・21票  
大山美智子・・・2票  
小林 一貫・・・1票  
閑野 高広・・・1票  
無効・・・4票

◇副議長選挙（投票総数29票）

黒澤三千夫・・・22票  
桜井くるみ・・・3票  
守屋 淳・・・2票  
無効・・・2票



副議長  
黒澤三千夫副議長



議長  
須永宣延議長

監査委員の選任に同意

6月21日、議会選出の監査委員に閑野高広議員を選任したい旨の議案が市長から提出され、同意しました。

大里広域市町村圏組合議会議員の補欠選挙を実施

6月21日、小島正泰議員が大里広域市町村圏組合議会議員に選出されました。

常任委員会委員および議会運営委員会委員を選任、正副委員長互選

各常任委員会委員・議会運営委員会委員の任期満了に伴

以下の議員を選任し、正副委員長の互選を行いました。  
(◎委員長、○副委員長)

### 議会運営委員会

- ◎富岡 信吾 ○三浦 和一
- 栗原 健昇 新井 正夫
- 松本 富男 福田 勝美
- 桜井くるみ 閑野 高広
- 千葉 義浩 影山 琢也

### 総務文教常任委員会

(所管：市長公室、総合政策部、総務部、契約室、出納室、消防本部、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、議会事務局)

- ◎権田 清志 ○腰塚菜穂子
- 加賀崎千秋 富岡 信吾
- 大山美智子 小林 一貫
- 林 幸子

### 環境産業常任委員会

(所管：環境部、産業振興部、農業委員会)

- ◎小島 正泰 ○鈴木 理裕
- 栗原 健昇 新井 正夫
- 松本 富男 松本真市郎
- 守屋 淳

### 市民福祉常任委員会

(所管：市民部、福祉部)

- ◎石川 広己 ○影山 琢也
- 松岡 兵衛 福田 勝美
- 桜井くるみ 黒澤三千夫

関口 弥生 閑野 高広

### 議会改革特別委員会

- ◎松本真市郎 ○林 幸子
- 大山美智子 関口 弥生
- 石川 広己 中島 勉
- 腰塚菜穂子 鈴木 理裕
- 影山 琢也

ための補助金として計上する。

また、監査委員の選任および人権擁護委員候補者について同意し、さらに議員提出議案3件を原案どおり可決し、6月定例会は閉会しました。各議案の審議結果は次ページの表のとおりです。

### 都市建設常任委員会

- (所管：都市整備部、建設部、水道部)
- ◎小鮎 賢二 ○千葉 義浩
- 大久保照夫 森 新一
- 三浦 和一 野澤 久夫
- 中島 勉

### 特別委員会を設置

6月21日に、議員提出議案として、次の3つの特別委員会の設置議案が上程され、審議の結果、原案どおり可決されました。

その後、それぞれの特別委員会の委員について、議長の指名がなされ、正副委員長の互選が行われました。

### 農業振興特別委員会

- ◎福田 勝美 ○桜井くるみ
- 大久保照夫 加賀崎千秋
- 松岡 兵衛 森 新一
- 三浦 和一 黒澤三千夫
- 小鮎 賢二 権田 清志

市民の皆様からの寄附金や市外の皆様からのふるさと熊谷応援寄附による寄附金については、ラグビーワールドカップ2019運営基金をはじめとする各基金への積み立て、あわせて、熊谷うちわ祭の屋台改修等への追加の補助金、アルカス熊谷を支援する

8日には総務文教常任委員会および環境産業常任委員会において、また9日には市民福祉常任委員会および都市建設常任委員会において、付託された議案および請願についてそれぞれ審査が行われました。

最終日(21日)の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案を全て原案どおり可決しました。

### 市長の提案説明

初日(6月2日)の本会議では、市長から次のような提案説明がありました。

「一般会計補正予算の主な歳出では、衛生費に、「『総合戦略』早期不妊検査費助成事業」として、県の補助制度以外に本市独自の上乗せを行うための経費を計上する。」

教育費においては、「実践的安全教育総合支援事業」として県の委託を受け、荒川地区において小中学校と地域が連携した実践的な防災教育を行うための経費を計上する。

### 審議の概要

6月7日の本会議では条例案や補正予算案に対する質疑が行われた後、各議案および請願が所管の常任委員会に付託されました。

### 永年勤続議員表彰される

全国市議会議長会および埼玉県市議会議長会から、次の議員が永年の功績を称えられ、永年勤続議員として表彰されました。

- 〔30年勤続表彰〕
- 栗原 健昇議員
- 〔10年勤続表彰〕
- 須永 宣延議員
- 黒澤三千夫議員



左から栗原健昇議員、須永宣延議員、黒澤三千夫議員

# 平成29年第2回定例会 審議結果

○：賛成、×：反対、欠：欠席、退：退席

議案番号	議席番号、議員名 議案件名	審議結果																															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
			影山 琢也	鈴木 理裕	千葉 義浩	腰塚 菜穂子	小島 正泰	権田 清志	中島 勉	石川 広己	小鮎 賢二	閑野 高広	守屋 幸子	林 弥生	関口 久夫	野澤 三夫	黒澤 宣延	須永 一貫	小林 一貴	桜井 くるみ	松本 貢市郎	三浦 和一	大山 美智子	森 新一	富岡 信吾	福田 勝美	松岡 兵衛	松本 富男	新井 正夫	加賀崎 千秋	大久保 照夫	栗原 健昇	
第35号	専決処分の承認を求めることについて (平成28年度熊谷市一般会計補正予算(第5号))	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第36号	専決処分の承認を求めることについて (平成28年度熊谷市熊谷都市計画事業土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第37号	専決処分の承認を求めることについて (熊谷市税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第38号	専決処分の承認を求めることについて (熊谷市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第39号	専決処分の承認を求めることについて (熊谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第40号	専決処分の承認を求めることについて (熊谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第41号	専決処分の承認を求めることについて (市長及び副市長の給料の減額支給に関する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第42号	平成29年度熊谷市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第43号	熊谷市役所出張所条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第44号	熊谷市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第45号	熊谷市職員退職手当条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第46号	熊谷市税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第47号	熊谷市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第48号	熊谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第49号	熊谷市立児童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第50号	熊谷市自治基本条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	工事請負契約の締結について (熊谷市立新堀小学校屋内運動場建築工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号	工事請負契約の締結について (熊谷市立文化センター耐震補強等建築工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号	工事請負契約の締結について (熊谷市立文化センター耐震補強等空調設備工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号	財産の取得について(水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ-B型))	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	財産の取得について(食器洗浄機(食器浸漬装置付き))	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第56号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第57号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第58号	熊谷市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第59号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 第10号	「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律等の一部を改正する法律案に反対する意見書」の提出を求める請願 ※2	不採択	○	○	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提議案 第3号	農業振興特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提議案 第4号	スポーツ・観光特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提議案 第5号	議会改革特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません

※議長は採決に加わりません

※1 自己に関する議案のため、採決には加わりません。 ※2 請願第10号は不採択とすることを審議したものです。

# 市政、ここが知りたい!

## 一般質問 (要旨)



一般質問とは、定例会で議案に関係なく市政全般について、市の方針をただすものです。

6月定例会では、14日、15日、16日の3日間、21人の議員により行われました。

以下、各議員の質問と答弁の要旨について、1議員につき1項目を選び、ご紹介します。

なお、答弁の文末の( )内は、主な所管課です。

### 富岡清市長の政治姿勢について



とみおかしんご 富岡信吾議員 (熊谷清風会)

**問** 富岡市長の市政に対する考えと総括、またその実績を踏まえ、諸課題へ取り組む覚悟と次期市長選への出馬の意向について所信を伺いたい。

**答** 就任以来、市政の主役は市民であることを基本姿勢とし、「財政の健全化が私の使命」の信念の下、自主財源の確保に努める一方で、行財政改革にも積極的に取り組み、生み出した貴重な財源を活用して地域の課題や市民ニーズに的確に対応すべく諸施策に取り組んできました。

主な事業として、こども医療費窓口無料化の対象年齢の拡大や放課後児童クラブの充実等安心して子供を産み育てられる環境整備、小中学校教室へのエアコン設置や屋内運動場の改築等による安全で快適な教育環境の整備、くまびスクール等の実施による学力向上対策、企業誘致や市内企業の支援による産業振興と

雇用の拡大、高齢者や小学生へのクールスカーフの配布等、独自の取り組みが日本一として認められた暑さ対策事業、住宅購入に係る固定資産税等の課税免除や新幹線通勤費用の一部助成等の転入促進や定住人口増加に向けた施策に力を注いできた。

今後は、ラグビーワールドカップ2019開催に向けアクセス道路網の整備等、具体的な整備を進めるとともに、大会後のまちづくりを視野に入れたレガシー(遺産)の創出が求められる一方で、小中学校校舎の大規模改造、ソシオ流通センター駅を中心とした新たな産業拠点の整備、子育て支援や暮らしの安心安全等、市民生活に直結した多岐にわたる課題も停滞させるわけにはいかない。

今、熊谷はより豊かで明るい未来に向け、最善の航路を見極めなければならぬ大変重要な時期を迎えている。こうした難しい時期だからこそ、これまでの市政運営で培った知識と経験と誰にも負けない「熊谷愛」をもって、引き続き市政運営の舵取りを担わせていただきたいと考えている。(政策調査課)

### 小中学校のトイレ改修について



みうらかずいち 三浦和一議員 (公明党)

**問** 子どもたちは学校での排便にどのような問題を抱えているか。子どもたちが安心してトイレを利用できる方策は。

**答** 和式便器に不慣れなこと、臭いによりトイレに行きたくないという子どもがいるとの声がある。これらについて、洋式化等の改修により解決できるものと考えている。

**問** 学校での排便を我慢することによる健康被害が見受けられるという意見についてどう考えるか。

**答** 排便を我慢することにより、便秘が慢性化することは、健康に大きな問題となることから、我慢せずに学校で排便できる環境が必要と考えている。

**問** 市内小中学校のトイレ改修の今後の計画は。洋式和式の配置割合、床仕上げは湿式と乾式のどちらの考えか。

(次ページ上段へ続く)

市政を問う

**答** 公共施設アセットマネジメントとの整合性を考慮しながら、学校の全てのトイレ改修を考えている。期間はおおむね7年間とし、古いトイレを抱えている学校順に実施する予定である。29年度は、小学校は熊谷西、熊谷南、吉岡、三尻、奈良、籠原の6校、中学校は、大原、三尻、大里の3校で、便器は全て洋式、床は菌や臭いをふせぐため、乾式仕上げを取り入れる計画である。

**問** トイレの床や壁を明るい色にし、特に低学年が使用するトイレには水玉やニャオさねのようなキャラクターをデザインに取り入れ、楽しい雰囲気にする考えは。

**答** 床や壁の色は明るく清潔感のあふれる色合いを考慮しており、壁とドアの色合いを変えなどの工夫により、楽しい雰囲気づくりに努める。水玉やキャラクターデザインについては、学校の意見を聞きながら検討する。

○その他の質問項目

「成年後見制度の利用促進について」



救急医療情報キットについて



こしままさやす 議員  
小島正泰 (熊谷清風会)

**問** 救急医療情報キットに対する市の認識は。

**答** このキットはかかりつけ医療機関、既往症等を記入したシートを筒状容器に入れ、冷蔵庫に保管することにより、駆けつけた救急隊の迅速な救急活動に寄与すると考える。

**問** なぜ単身高齢者のみの配布なのか。

**答** 配偶者や家族と同居している高齢者に比べ、緊急時に救急隊員や搬送先の医療機関が本人の情報を得にくいと考えられるためである。

**問** 配布を開始した平成22年度と29年度の高齢者の人数とその推移は。

**答** 平成22年4月1日現在の高齢者数は4万3633人、29年4月1日は5万4140人であり、1万507人増加している。

**問** 昨年度の救急車の出動件数、そのうちの高齢者の割合、

キットの利用件数は。

**答** 救急車の出動件数は9103件、うち高齢者の割合は50.5%、キットの利用件数は6件である。

**問** キットのPRは。

**答** 導入当初は「社協だより」等に掲載していたが、配布対象が単身高齢者のみと限定的なため、現在は民生委員のみに説明している。

**問** 個別希望者への販売は。

**答** 同様のものが民間で約500円で販売されているため、市での販売は行っていない。

**問** 仮に全戸配布する場合の費用総額は。

**答** 本年4月1日現在の総世帯数8万5079世帯への配布を想定した場合、キット完成品の1個当たりの原価は民間とほぼ同額の約500円となり、配布総額は約4250万円が見込まれる。

**問** 全戸配布が難しければ、キットの作り方を紹介してはどうか。

**答** 今後、市報やホームページ等でキットの作り方を紹介し、多くの方が利用できるよう検討する。

○その他の質問項目  
「こみ減量の取組について」

生活困窮者自立支援制度の検証—貧困問題に自治体はどう向き合うのか—



こしまほこ 議員  
こほなほこ (民進・社民の会)

**問** 新規相談受付状況について、現状分析と本市の傾向、また、今後の課題は。

**答** 性別割合は男性が7割と多く、年代別割合は60代が24%、50代が22%、40代が17%、30代が15%、70代が10%、20代が9%。相談経路は「本人自ら来所、連絡」が89%、「関係機関、関係者から紹介」が6%、「家族、知人が来所、連絡」が3%となっている。

相談内容は経済的困窮が30%、就職活動困難が13%、住まい不安定が12%等となっている。

国の傾向と同様に経済的困窮の該当が最も多く、男女とも現役世代を中心に就職活動困難の相談が多いと思われる。課題は本制度の周知やPRなどがある。

**問** 就労支援は具体的にどのようになされているのか。

**答** ハローワークの担当と市の支援員および本人による支援調整会議を開催し、プランを作成した後、ハローワークにおいて就労へつなげている。

**問** 支援を必要とする市民が、確実に本制度へつながるように、周知方法やPRを工夫するべきだと思うが。

**答** 制度のチラシを置く公共施設を増やすとともに、民間のショッピングセンターなどへも設置のお願いをする。

**問** 食事にも困っている市民に対して、どのような食の支援が行われているのか。

**答** 社会福祉協議会を通じたフードバンクによる食料支援を行っている。

また、市内にはボランティアによる子ども食堂があるので、こうした情報も提供していく。

**問** 子ども食堂に対して、行政は今後どのような支援の在り方を考えているのか。

**答** どのような支援が効果的なのか、他市の事例も参考にしながら研究していく。

○その他の質問項目  
「受動喫煙防止対策の更なる推進を」

市政を問う

交通弱者対策について



いしかわひろみ 石川広己議員 (熊志会)

問 運転免許がなく、公共交通機関の利用が難しいと

とが考えられるが、そのような「交通不便地域」をどのように定義しているのか。

答 一キロメートル以内に鉄道駅がなく、かつ三百メートル以内にバス停留所がない地域としている。

問 「交通不便地域」に対して、どのような事業を実施してきたのか。

答 民間路線バスの補完、移動制約者の移動手段の確保を主な目的として、ゆうゆうバスを運行している。バスのルートについては、交通不便地域を中心に、公共施設、病院等を循環するように設定している。

問 今後の対策として、デマンド交通や福祉タクシーなどの導入の検討状況は。

答 デマンド交通は、交通不

便地域にきめ細かく対応できるなどのメリットがあるが、一人当たりの輸送コストが高く、大量輸送ができないなどのデメリットもあるため、需要等を見極めながら、今後、検討していきたい。また、福祉タクシーについては、現在、身体障害者手帳などを持っている方に、運賃の助成を行っている。



問 民間のバス会社やタクシー会社等との連携について。

答 ゆうゆうバスの運行やデマンド交通の導入などによって、これらの事業者と競合し、経営を圧迫することがないよう、地域公共交通会議の中で、事業者の意見もいただきながら、検討していく。(企画課)

○その他の質問項目

「職員の福利厚生について」「防災対策について」

道路整備について



こばやし いっかん 小林一貫議員 (熊志会)

問 聖天山南側の県道羽生妻沼線の改修工事の進捗状況と今後の予定は。

答 県によると、平成28年度、県道太田熊谷線から西へ220メートルの道路北側の歩行者空間の整備が完了した。現在、道路北側の残り260メートルの区間の整備を進めており、29年9月頃に完了する予定とのことである。道路南側は、本年度、柴川との交差点の東側160メートルの区間の整備を行う予定とのことである。

問 市道妻沼1-135号線の整備構想の進捗状況は。

答 地元の方々の参加をいただいて平成25年度に策定した「聖天山周辺地区景観まちづくり整備計画」において、聖天山周辺を回遊するための「歴史まち歩き軸」として位置付け、県道羽生妻沼線とともに一体的・優先的に整備を

進めることとしている。29年度は、整備計画に定めた、門前町の景観にふさわしい整備を進めるため、測量および設計を行う予定である。

問 県道羽生妻沼線の改修工事に併せて、沿線の電柱の色を景観に配慮して茶色にしているが、市道妻沼1-135号線との交差点の信号機や支柱の色も同様にする考えは。

答 歩行者空間全体の整備の進捗状況を見ながら、関係機関との協議を進める。(都市計画課)

○その他の質問項目  
「高齢者の健康づくりについて」「公共施設の活用について」



整備された聖天山周辺の歩行者空間

地震による電気火災を防ぐ「感震ブレーカー」の設置について



あらい まさお 新井正夫議員 (熊志会)

問 市内の住宅密集地の現状は。

答 平成24年度、国土交通省から発表された「地震時等に著しく危険な密集市街地」によると、市内に危険密集市街地はなく、県内では川口市のみ該当している。なお、市内の人口密集地（1平方キロメートル当たり人口が5千人以上）は、熊谷駅周辺、籠原駅周辺、妻沼市街地の3カ所あり、市域の13・8%に55・5%の市民が生活している。

問 設置についての周知は。

答 今後、自主防災組織が対象の講演会や市のホームページ等で機能や費用等を広報する。

問 県内での感震ブレーカー設置費補助を行っている例は。

答 さいたま市、和光市で行っているほか、上尾市、草加市では地区を限定し設置費補助を行っている。

(次ページ上段へ続く)

市政を問う

**問** 設置費用と補助金額は。

**答** 設置費用は、電気工事を伴う分電盤内蔵型が、約5〜8万円、地震の揺れでもおもりが落下しブレーカーを落とす簡易型が約2〜4千円かかる。

補助額は、さいたま市の場合、災害リスクが高い地区で防災計画を策定している自主防災組織が一括購入した際に、限度額50万円で設置費用の4分の3を補助している。和光市では高齢者および障害者に対して簡易型の感震ブレーカーを対象に全額補助している。



簡易型感震ブレーカー

**問** 過去5年間の電気に関係する火災件数および出火原因は。

**答** 平成24年から28年までの順に、2件、2件、6件、5件、4件発生した。出火原因は配線に起因したものの8件、電気器具本体の不良等7件、電気プラグのほこりからの漏電によるものが4件あった。

(危機管理室、予防課)

○その他の質問項目

「堤防上の通行区分帯について」

上之土地区画整理事業について



こぶなけんじ 小鮎賢二議員 (熊谷清風会)

**問** 本事業の平成28年度末現在の進捗状況と今後の事業見込みについて伺いたい。

**答** この事業は、総事業費が253億6500万円、権利者数が781人、家屋移転総数が602戸という一部密集市街地を含む事業であり、平成5年の事業計画の公告から現在まで24年が経過している。事業の進捗状況は、平成28年度末で街路築造が24.2%、建物移転が44.7%、事業費ベースでは40.7%となっている。

現在、ラグビーワールドカップ2019開催に向け、本事業区域内の都市計画道路である熊谷谷郷線と第2北大通線を開通させることを最優先に整備を進めており、おおむね順調に進んでいる。

また、本市の土地区画整理事業は、上之地区を含めて、現在、3地区が施行中であり、

多額の財源が必要となっている。現在の状況は、籠原中央第一地区が、29年度から駅前広場の整備工事を行う段階となり、事業完了の目途が立ってきた。また、上石第一地区についても、大きく事業が進捗している状況である。

このように他地区の事業が完了に向けて進捗していることで、その財源等を集中させることで、上之地区の一層の事業推進を図っていく。

**問** 本事業を促進するための方策について伺いたい。

**答** 事業促進のためには、関係権利者の協力が重要であり、土地区画整理への理解を深めていただくため、土地区画整理事業の進捗状況等を記載した「区画整理だより」を定期的に発行するとともに、地元自治会の総会等で土地区画整理事業の状況等について説明を行っている。今後、国・県の補助金等を活用するとともに、移転の効率化を図るための手法として、仮設住宅の設置等の検討を行い、できるだけ早い事業完了に向け、進めていきたい。(土地区画整理中央事務所)

高次脳機能障害の支援と連携について



もりや あつし 淳議員 (公明党)

**問** 相談窓口および関係機関との連携について。

**答** 障害福祉課を相談窓口とし、相談支援事業所やサービス提供事業所と連携している。

**問** 担当職員の研修について。

**答** 高度な専門性を伴う支援が必要のため、埼玉県主催の研修等を活用し、理解を深める。

**問** 高度な専門性とは。

**答** 高次脳機能障害は、既存の身体障害、精神障害に関する福祉サービスの中で障害の程度、生活環境、年齢、家族の状況等に依りて多岐にわたる支援が必要で、複数の症状が現れたり、日ごとに症状が異なる当事者のニーズに对应え、適切な支援に結びつけるには、障害の知識だけでなく、医療、介護、就労等幅広い専門知識が必要となる。

**問** 市民への周知、啓発方法について。

**答** 市のホームページの活用のほか、埼玉県や国立リハビリテーションセンターのホームページを案内している。

**問** 埼玉県リハビリテーションセンターとの連携について。

**答** センター内に設置されている埼玉県高次脳機能障害者支援センターと連携しており、引き続き必要な支援が受けられるよう対応する。(障害福祉課)

○その他の質問項目  
「災害発生時の受援体制について」  
「災害時における避難所等でのお湯等飲料の確保のための災害時協定について」  
「避難行動要支援者名簿に関する個人情報取扱いについて」

高次脳機能障害とは

外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受け、その後遺症として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害等を指す。具体的には、「会話がかみ合わない」、「段取りを付けて物事を行うことができない」等の症状が挙げられ、日常生活において大きな支障を来す場合がある。



市政を問う

教育行政について  
―児童・生徒への携帯電話・スマートフォン  
の指導―



福田勝美議員  
(熊志会)

**問** 本市における、小中学生の携帯電話、スマートフォンの所持率は。

**答** 平成28年度は、小学6年生では、熊谷市35%、埼玉県51%、全国58%である。また、中学2年生で、熊谷市51%、埼玉県68%、全国78%である。

**問** どのような被害や問題があるのか把握しているか。

**答** 市内において自分の画像や動画などをSNSに掲載し、それがいじめにつながるような事例があったが、それぞれ早期に対応し、解決に至っている。引き続き、道徳の時間や学級活動、総合的な学習の時間等において、ネットトラブルやいじめについて、指導していく。

**問** トラブルに対し、具体的にどのように対応したのか。

**答** 直ちに緊急職員会議を開き、全職員で共通理解を図り、保護者立ち合いのもと掲載された画像や動画を削除させ、厳しく指導した。



ラグビーワールドカップ2019開催に向けての環境整備について



林さちこ議員  
(公明党)

**問** 熊谷駅周辺から熊谷スポーツ文化公園までの区間や主要観光スポットにおいて、無料Wi-Fi環境は整っているか。

**答** 大型商業施設やコンビニ、ハンバーガーショップ等で利用者向けの無料Wi-Fi環境を提供している。

**問** 「総合戦略」Wi-Fi観光整備事業の目的、実績等は。

**答** ラグビーワールドカップ2019を視野に、訪日外国人からの要望も多いことや、本市への来訪者の利便性向上や本市の魅力のアピールを目的として、28年度に熊谷駅正

面口、東口、南口に整備した。29年度は、中心市街地での面的な整備を進めるため、熊谷駅前通りから市役所通りまでの星川周辺に設置し、今後は、中心市街地へ拡大を検討する。

**問** 熊谷駅周辺に設置したものは、同時にどれくらいの人数に対応できるのか。

**答** データ通信量にもよるが、正面口は250人程度、南口と東口は30人程度である。

**問** 熊谷うちわ祭、グローバルラグビーフェスタなど、イベントでの実証実験を行うべきと考えるが市の見解は。

**答** 利用者が集中した際の状況を把握することは重要であるので、うちわ祭など多くの方が本市を訪れた際の利用状況を検証したい。

働き方改革について



千葉義浩議員  
(民進・社民の会)

**問** 平成29年3月、政府の働き方改革実現会議において、働き方改革実行計画が決定されたが、熊谷市の「働き方改革」に対する見解を伺う。

**答** 労働界と産業界の協力のもと、働く人全てが意欲を持ち、将来への希望を持ち得る社会の実現を目指した「働き方改革」について、「働き方改革実行計画」が、平成29年3月に決定され、始動した。「働き方改革」は、日本経済再生にとつて、労働参加率の向上が不可欠であり、その前に立ちはだかる、画一的な労働制度、企業風土、保育との両立などの壁を取り除くことが必要であるとの考え方に基づいている。

こうした国の動きに応じて、就労者のために地域性を踏まえた施策を展開することは、地方自治体の重要な役割であると考えている。本市は28年に策定した、「熊谷市人口ピ

(次ページ上段へ続く)

市政を問う

連節バスは必要か



さくらい くるみ 議員  
(日本共産党)

ジョン・総合戦略」において、働く人が働き続け、暮らし続けられるまちを目指し、さまざまな取り組みを進めてきた。職住近接による、ワークライフバランス確保のため、雇用の場となる企業を積極的に誘致するとともに、正社員雇用への補助金拡充や新幹線通勤定期券の購入補助など、独自の施策も実施している。また、子育て中に就労を希望する女性がキャリアを継続できるように、学童保育施設を毎年整備しているほか、さまざまな理由で離職した女性に対して、活躍の場を創出するため、起業セミナーの開催等、ライフステージやライフスタイルに対応した施策を進めている。

「働き方」と「暮らし方」は密接に関係しているので、「働き方改革」の本格化とともに、本市においても就労に関わる環境を整備し、国の改革をバックアップすることで、市の施策も相乗的に効果を発揮し、ひいては人口減少問題克服と市民の幸せの実現につながるものと考えている。

(企画課)

○その他の質問項目  
「建設業者の社会保険加入について」

向上に役立つものとし、導入に向けた取り組みを進めている。道路は大型観光バスが通行可能な道路であれば連節バスも通行可能である。また、バス停の改修が必要となる。

**問** 想定されるバスの利用者数と台数を伺いたい。

**答** 来場者数を3万人と仮定した場合、バス利用者は1万2千人程度、92台のバスを想定している。

**問** ワールドカップ後の連節バスの利用路線はどうなるのか。

**答** 多くの選手、観客の輸送が必要なイベントが多数ある熊谷スポーツ文化公園までの路線での利用を想定している。

**問** ワールドカップに間に合うように導入するにはいつまでに決定するのか。

**答** バスが海外製ということもあり、手続き開始から1年半から2年程度かかる見込みである。導入については現在費用対効果等を踏まえ検討中であり29年度中には方向性を出す。

(企画課)

○その他の質問項目  
「笑顔あふれる学校給食を目指して」  
「福祉避難所の充実を」

国保広域化の課題について



おやまみ ちこ 議員  
(日本共産党)

担うこととなる。国保税の賦課徴収は引き続き市町村が行い、納付金として県へ納付する一方、保険給付財源の全額が、交付金として県から市町村に交付されることとなる。

**問** 県の試算では納付金および標準保険税はどのように示されたのか。

**答** 新制度の一人当たりの保険税額は、約1.4倍の12万5234円が示された。

**問** 法定外繰入金金の推移、繰り入れを行ってきた理由は。

**答** 推移は26年度約10.7億円、27年度約11.3億円。理由は、各年度の国保会計の収支の不足した金額の補填として、国保事業を安定的に運営するためである。

**問** 法定外繰入金は市町村独自で決めてよいことになっているが、広域化後も繰り入れを行うのか。

**答** 平成30年度以降、赤字解消削減計画を策定し、計画的に法定外繰入金金の削減を図っていくが、赤字補填の必要が生じた場合は、繰り入れを行うこととなる。

(保険年金課)

○その他の質問項目  
「誰もが使えることも医療費無料化制度の実現を」

市政を問う

未来をひらく教育のICT活用について



鈴木理裕議員 (清新会)

を獲得し、授業や校務へ生かすための支援や、取り組みの状況を伺う。

答 各教科の研修会でICTを用いた指導方法を紹介するとともに、情報教育研究協力員が、その研究成果を全校に広めている。

急速な情報化により将来の変化を予測することが困難な時代に前に、教育のICT化の早期実現が強く求められている。また、特別支援教育においても、障害の特性に応じたICT活用が極めて効果的とする見解もあり、合理的配慮のもとで全ての子どもがICTの可能性に触れる機会が必要と考える。こうした観点

問 現在、日常のかつ実践的な情報機器の活用サポートを担う「ICT支援員」の果たす役割が注目され、さまざまな自治体で生かされていると伺っている。本市においてもICT環境整備の重要な一環をなす「ICT支援員」の設置が必要と考えるが、見解を伺う。

を踏まえ伺う。

答 研究していきたい。(学校教育課)

問 既に本市で認識されているICT活用の意義等を考慮し、今後段階的にICT環境の整備を行うこと、およびそのための計画作成が必要と考えるが、見解を伺う。

答 ICT環境の整備については、社会の動向、ICTの活用に関する先進的な研究を踏まえ、有効性を見極めながら検討する。

問 教師が教育のICT化における専門的知見やノウハウ

○その他の質問項目  
「学びの質を握る」「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の実践



「学校におけるいじめ・不登校の防止と、より良い学級づくりに効果を発揮する学級診断「QU」の活用について」

孫育てを応援する「祖父母手帳」の取組について



関口弥生議員 (公明党)

どのように考えるか、また、孫育てについての情報を広報する考えはあるのか。

問 本市の祖父母の孫育てを応援する取り組みは。

答 子育て支援にかかる取り組みとして、祖父母世代の方にも、市内各地の子育て支援拠点の気軽な利用やイベントへの参加を広く呼びかけており、さまざまな年齢層の方に利用いただいている。また、29年7月から新しい取り組みとして、3カ所の地域公民館で、地域での子育て応援者の増加を図るため、高齢者の方を含め、あらゆる世代の方を対象とした「子育て応援団講演会」を開催して、子育てに関する協力の輪を広げていく予定である。祖父母世代に支援をいただくことで、地域コミュニティも強まり、子育て世代も心身ともに余裕が生まれ、安心して子育てができる環境が醸成されるものと考えている。

問 「祖父母手帳」の導入を

※祖父母手帳とは  
さいたま市などが発行、無料配布している育児に関する祖父母向けの小冊子。  
祖父母世代が子育てをしてきた時代と異なっている最近の育児事情をまとめたほか、「孫育て」を楽しめるようなヒントなどが詰まった一冊となっている。



公共施設アセットマネジメントの取組について



権田清志議員 (清新会)

問 基本的な考え方について。

答 人口減少により施設利用者の減少や財政規模の縮小等が想定されることから、今後約40年間で公共施設の建物面積を43%削減する等の目標を掲げている。このことは、更新・統廃合される施設を生かし市民サービスを向上させるとともにより良いまちをつくる好機であると捉えている。

複合化された施設を多世代が使用することによる世代間の交流促進や施設のバリアフリー化、民間活力の活用によるサービスの多様化と経費削減が図られ、住みやすいまちづくりにつながる

と考えられる。  
施設は利用形態から、小中学校、地域公民館など地域住民が共同で利用する「地域施設」、庁舎、ホールなど市民全体が共同で利用する「広域

(次ページ上段へ続く)

市政を問う

施設」とで区分し、市域を5つのエリアに区分する等の考え方に基づいて、更新・統廃合の検討や経費削減、使用料の見直し等を行う。例えば学校教育施設では、児童の安全を第一に考え、小学校と公民館、児童クラブ、子育て拠点施設など複合化した先行事例を参考に組み合わせ。また、地域公共交通網に関しては、適宜、整備再編を検討する。

**問** 今後の進め方について。

**答** 平成31年度を用途に個別計画を策定する。今年度は、そのための基礎資料として、公共施設白書を作成するほか、市民全体の考えを把握するため、アンケートも実施する。

**問** 広域施設の他自治体との連携について。

**答** 市民の負担軽減やサービス向上が可能であれば、施設の相互利用・広域利用や用途廃止した施設の借用、譲り受けの検討も必要と考える。借用等については、施設自体の維持、管理のみならず、サービス提供にかかる費用も含めた長期間のコスト負担の検討が重要と考える。  
(行政改革推進室)

利根川新橋の建設について



議員 新一 森 (熊志会)

**問** 利根川新橋建設に向けたこれまでの取り組みは。

**答** 旧妻沼町が中心となり平成9年に周辺15市町村で構成される利根川新橋建設促進期成同盟会を立ち上げ、国や各県へ要望活動を行ってきた。合併後は、熊谷市長が会長を引き継ぎ、平成18年に利根川新橋を架ける市民の会、23年に熊谷市の議員連盟、26年には西邑楽議員連盟が発足するなど官民の機運も高まり、整備に向けた活動を行っている。

**問** 新橋建設のためのこれまでの調査の内容は。

**答** 平成15年に発足した群馬県、埼玉県による群馬埼玉地域連携道路網検討会では、架橋位置やアプローチルート等を検討しており、21年度から3年間、両県が調査費を半分ずつ負担し、交通実態調査や橋の形式の概略などの調査のほか、史跡埋蔵物の調査、利

根川河川敷を占用している日本学生航空連盟のヒアリング等を実施した。

**問** 日本学生航空連盟とのヒアリングの内容等について。

**答** 架橋が想定されるエリアに滑空場があることから、滑空場の移設の可能性について利用状況等を含めてヒアリングを行った。飛行回数も非常に多く、連盟からは、残してほしい旨の意見があった。

**問** 今後どのような取り組みをしていくのか。

**答** 利根川新橋建設促進期成同盟会構成市町のほか、市民の会、本市および西邑楽三町議員連盟と連携し、機運の醸成を図りながら、早期実現に向けて、引き続き関係機関への働きかけを行う。  
(企画課)



○その他の質問項目  
「ジャパナラグビートップリーグのパナソニックワイヤードナイツを熊谷市へ招致する考えは」

高齢運転者「ハンドルをいつまで握れるか、握れなくなっても大丈夫か」を考える



議員 高広 閑野 (清新会)

(1) 高齢運転者を取り巻く実情への問題意識を問う

**ア** 現役高齢運転者の実態把握と免許自主返納者の動向

**イ** 道路交通法改正による影響と乗れなくなる人の将来動向

**ウ** ギリギリまでハンドルが手放せない高齢運転者の心情

**エ** 高齢運転者の不安に市はどこまで寄り添えるのか

(2) 熊谷市地域公共交通網形成計画の描く「生活の足」の本質を見つめ直す

**ア** 本計画は「お出かけ弱者」にとってどんな機会を与えているものか

**イ** ゆうゆうバスの再編等で描いたあるべき姿とその他ねらい

**ウ** 計画検討における民間路線バスの新規路線等の要望・提起の有無

**エ** デマンド型交通導入における適宜検討の意味と課題整理

(3) 熊谷地域「交通版SCM」と「おでかけの駅」構想

**ア** 熊谷地域の交通体系をSCM的な発想で捉えるかどうか見えるか

**イ** 地域内交通における各行政センターの機能と拠点性をどう捉えるか

**ウ** 送迎サービス等を有するビジネス分野にはどんなものがあるか

**エ** 多様なモビリティの乗換えを喚起する拠点開発へのアプローチ

**問** 高齢者運転者を取り巻く問題の本質はどこにあるのか。

**答** 高齢者の視点で、生活を支える仕組みを構築していくことが必要であり、中でも、移動手段の確保は、生活の基本部分を支える重要な課題であると考える。

**問** 熊谷市地域公共交通網形成計画で念頭におかれた交通不便地域の高齢者対策が本計画に「おでかけ弱者」の受け皿になると考えているか。

**答** 民間路線バス、ゆうゆうバス、これらを補完する交通システムが、効果的に連携するような、地域公共交通網形成計画の再編により、交通不便地域における、高齢者の利便性の向上を図っていきたい。

(安心安全課、企画課)

市政を問う

新しい熊谷づくり  
その20



野澤久夫 議員  
(清新会)

ラグビータウン熊谷の更なる醸成について

ラグビートップリーグのバナソニックワイルドナイツが熊谷をフランチャイズにするための働きかけは。

バナソニックワイルドナイツは、バナソニック株式会社が所有する企業スポーツチームで、太田市を練習拠点として、本市出身の選手や、熊谷ラグビー場で育った選手も多く在籍している。

ラグビーでは、フランチャイズ制が導入されておらず、具体的な働きかけには至っていないが、良好な関係を築けているものと考える。

本市がフランチャイズとなった場合の影響は。

Jリーグの浦和レッズ、大宮アルディージャのように、市民が一体となって盛り上げられる新たな核となり、本市の活性化や地域振興はもとより、

市内のラグビートームの競技力向上にも寄与すると考える。また、選手・スタッフの半数程度が社員であることや、同社の事業所が大泉町にあり、熊谷駅を頻繁に利用していることなどから、本市の商業振興や定住人口増加にも好影響をもたらすことが期待される。

グローバルラグビーフエスタ2017埼玉・熊谷において本市が担う役割は。

企画段階から全て埼玉県と本市、県ラグビー協会、ワイルドナイツの4者による実行委員会、ラグビータウンドカップ本番を意識しながら、多くの方に来場いただけるよう準備を進めている。

2020年以降、ラグビータウンとして輝いていくために必要なことは。また、取り組むべきことは。

生まれ変わった熊谷ラグビー場で、大勢の市民の応援を実現することであり、そのためにも本市が「ラグビーの聖地」と言われるよう、競技人口やファン層の拡大など、ラグビータウンとしてのブランド力向上も図らなければならぬと考えます。  
(ラグビータウンドカップ 2019推進室)

熊谷市立商工会館の建替えについて



栗原健昇 議員  
(市政クラブ)

市が有する築40年以上の文化系貸館施設のうち、利用者数の多いものは。

平成27年度実績で、1位、中央公民館9万4312人、2位、商工会館4万8512人、3位、玉井公民館3万1278人である。

商工会館の耐震診断について伺いたい。

商工会館は、当初、テクノグリーンセンター整備に合わせた移転計画があり、平成24年度からは、県との共同事業である北部地域振興交流拠点施設(仮称)の導入施設として計画してきた経緯がある。このため、耐震診断は実施していない。

火災、震災のとき、施設利用者への人的、物的被害が生じた場合の市、指定管理者の間の責任区分について伺いたい。

本市の指定管理者制度で

は、指定管理者と市との責任分担を募集要項において定めており、施設利用者の被災に對しては、原則市が責任を負うことになっている。

PFI手法(公共施設等の設計、建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して効率的かつ効果的に実施し、市民サービスの向上やトータルコストの削減を図る事業手法)を活用して、市有地に商工会館を建設することについての見解は。

本市では、PFI手法は有効な事業手法と考えており、公共施設アセットマネジメント基本計画等において、公共施設の整備についてはPFI等の導入を検討することとしている。市有地に商工会館を建設することについては、共同事業者である県とこれからの整備の進め方を協議している最中のため、県との協議が調った上で判断したい。  
(商工業振興課)

その他の質問項目

「北部地域振興交流拠点施設(仮称)について」

熊谷市へ先進地視察にお越しいただきました

5月8日 山口県山口市市民クラブ市民協働の取り組みについて「熊谷の力」事業および「はじめの一步助成金」事業

5月9日 三重県津市教育厚生委員会「学力向上対策推進事業」について

5月15日 愛知県小牧市福祉厚生委員会「女性消防団員の活動」について



5/15 愛知県小牧市の視察の様子

5月17日 愛知県岡崎市市民清風会他「子育て応援プロジェクト(熊谷市病児等緊急サポート事業等)」について

5月23日 大阪府摂津市文教常任委員会「小・中学校における学力向上の取り組み」について

## 総務文教常任委員会

熊谷市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

**問** マイナンバー制度の情報連携について、具体的な開始時期を伺いたい。

**答** 自治体間の連携は、7月から順次開始され、本格稼働は本年秋頃となる見込みである。  
(所管課・庶務課)

熊谷市税条例の一部を改正する条例について

**問** わがまち特例の対象となる資産の中で、企業主導型保育事業の用に供する固定資産とあるが、ここで規定している企業主導型保育事業とはどのようなものか伺いたい。

**答** 児童福祉法の認可外施設のうち、企業が主に自社の従業員に対して保育サービスを提供する保育事業の施設の設置者が政府の補助を受けて実施するものである。  
(所管課・資産税課)

工事請負契約の締結について（熊谷市立新堀小学校屋内運動場建築工事）

**問** 屋内運動場のアリーナの広さの最低基準について伺いたい。

**答** 学校の敷地の状況や面積に影響を

受けるが、ミニバスケットボールのコートを2面確保できる広さを目安としており、最小で縦22メートル、横24メートルである。  
(所管課・教育総務課)

(所管課・教育総務課)

工事請負契約の締結について（熊谷市立文化センター耐震補強等建築工事および熊谷市立文化センター耐震補強等空調設備工事）

**問** 工事期間中は休館となることだが、その対応について伺いたい。

**答** 大里、妻沼、江南の地域図書館に、新刊本や雑誌類などを移し、この3館の利用を案内していく。また、電話サービス業務や移動図書館は継続して実施し、お話し会についても会場を変更して実施する。こういった情報を市報やホームページでお知らせしたい。  
(所管課・文化センター)



熊谷市立文化センター

財産の取得について（食器洗浄機（食器浸漬装置付き））

**問** 今回入替予定の食器洗浄機が導入された時期について伺いたい。

**答** 平成4年8月に設置し、現在故障中である。  
(所管課・熊谷学校給食センター)

平成29年度熊谷市一般会計補正予算（総務費）について

**問** 今年度、荒川中学校、熊谷南小学校で行われる実践的安全教育総合支援事業における参加団体について伺いたい。また、この事業により期待できる効果も併せて伺いたい。

**答** 熊谷地方気象台、熊谷市消防本部、埼玉県北部教育事務所、荒川公民館、地域の自治会連合会等を想定している。

想定される効果は、地域も含めた防災意識の向上とともに、端末機の実用により災害発生時に近い形での訓練となることから、その面での効果も見込んでいる。  
(所管課・学校教育課)

- |    |           |    |
|----|-----------|----|
| 委員 | 長 清志      | 秋子 |
| 委員 | 副委員長 長 穂子 | 千信 |
| 委員 | 副委員長 塚 菜穂 | 美智 |
| 委員 | 副委員長 賀 崎  | 美智 |
| 委員 | 副委員長 加 富  | 大幸 |
| 委員 | 副委員長 大 山  | 小幸 |
| 委員 | 副委員長 小 林  | 幸  |

## 環境産業常任委員会

平成29年度熊谷市一般会計補正予算（債務負担行為補正）について

**問** ごみの収集に係る委託数と地域について伺いたい。

**答** ごみ収集のうち委託をしている案件が7件ある。地域では、熊谷地域がA、B、Cの3地区、妻沼地域がA、Bの2地区、大里および江南地域が1地区で、それ以外に熊谷市全域の紙資源物の収集がある。また、直営については、熊谷地域で2地区ある。

債務負担行為を行う理由を伺いたい。

**答** ごみの収集車両を準備する期間が6カ月程度かかり、平成30年4月から安定した収集を行うには、債務負担行為を行う必要がある。  
(所管課・環境推進課)



ごみの出し方や収集日をアラート機能でお知らせするこのアプリは、「App store」「Google play」から「熊谷市ごみ分別」で検索、登録できます。

- |    |           |    |
|----|-----------|----|
| 委員 | 長 正泰      | 昇夫 |
| 委員 | 副委員長 長 理裕 | 正男 |
| 委員 | 副委員長 小島 健 | 正富 |
| 委員 | 副委員長 鈴木 原 | 本屋 |
| 委員 | 副委員長 小島 栗 | 新本 |
| 委員 | 副委員長 鈴木 松 | 本屋 |
| 委員 | 副委員長 小島 松 | 守  |

## 市民福祉常任委員会

熊谷市役所出張所条例の一部を改正する条例について

**問** 各出張所における母子健康手帳の交付件数について、平成28年度は、出張所全体で130件とのことだが、地域的な偏りはあるのか伺いたい。

**答** 三尻出張所が48件、玉井出張所が33件、別府出張所が20件と比較的多く交付している。

(所管課・市民課)

**問** 子育て世代包括支援センターが新たに母子健康手帳の交付業務を担うこととなるが、どのように対応していくのか伺いたい。

**答** 交付に当たっては、専門知識を有する助産師が対応する。また、面接により、妊婦の体調や、育児環境等を把握するとともに、母子保健や子育てサービスなどの情報提供を行っていく予定である。

(所管課・母子健康センター)

熊谷市立児童クラブ条例の一部を改正する条例について

**問** 新規に開設される3カ所の児童クラブの受入れ規模はどれくらいか。また、指導員は何名体制を予定しているのか伺いたい。

**答** 第5石原児童クラブと第3玉井児

童クラブが40人、久下児童クラブが30人である。また、指導員については、各児童クラブに非常勤嘱託職員が3人ずつ配置される予定である。

**問** 児童クラブの新規開設により、待機児童数などの程度解消されるのか伺いたい。

**答** 石原小学校および玉井小学校については、待機児童が解消されるが、他の学校の待機児童については、合計8校で21人となっている。今後も、的確に需要を見極めた上で早期の待機児童解消に向けて整備に取り組んでいきたい。

(所管課・保育課)

平成29年度熊谷市一般会計補正予算(衛生費)について

**問** 「総合戦略」早期不妊検査費助成事業について、補正金額である3100万円の積算根拠について伺いたい。

**答** 事務費として10万円、また、助成金300万円については、1人当たり3万円、1000件分の申請を見込んでいる。

(所管課・健康づくり課)

「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規



広己 衛美み夫生広  
長 兵勝る千弥高  
副 岡田井澤口野  
委員 松福桜黒関閑  
委員 石影山

制等に関する法律等の一部を改正する法律案に反対する意見書」の提出を求める請願について

【主な意見】

賛成意見 共謀罪は、実際に起きていない犯罪について、2人以上で話し合い、計画し、準備を行っただけで犯罪に問える恐ろしい法律である。また、組織的犯罪集団の定義というのが、国会審議のなかでも明らかにならなかった。警察が犯罪集団だと決めれば、捜査の対象になる。心の中まで縛り、監視が強くなる共謀罪は、憲法違反であると考えられることから、この請願に賛成である。

反対意見 テロ等準備法案は、国民の不安や懸念を払しょくするのに十分な処罰範囲の限定と明確化が図られており、運用面においても、任意捜査、強制捜査を問わず、組織的犯罪集団に限定されている以上、これと関わりのない一般の方々に犯罪の嫌疑が発生する余地はない。テロ等を含む組織犯罪から国民と日本に來る外国の方々を守るために法整備を行うことは、法治国家として当然の責務であることから、本法案の早期成立を望むものであり、この請願に反対である。

## 都市建設常任委員会

二 浩 夫一夫勉  
賢 義 保新和久  
長 久 浦澤島  
委員 小千員 大森三野中  
委員 副 委

平成29年度熊谷市一般会計補正予算(土木費)について

**問** 熊谷市みどりの基金の設立経緯と目的について伺いたい。

**答** 昭和60年5月に熊谷市美術家協会から緑化基金の設置を目的として51万円の寄附をいただき、それに市費49万円を加えた100万円をもとに、昭和61年の3月定例会で「可決いただき、設置されたものである。

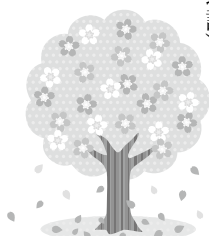
**問** 基金の現在高について伺いたい

**答** 平成29年3月31日現在、1136万5071円である。

**問** 基金の活用実績および今後の活用の見通しについて伺いたい。

**答** 活用実績は、新堤緑地の桜の植え替え、緑の基本計画の策定、樹木粉碎機の購入、100年の森づくり事業において活用し、今後、次期の緑の基本計画の策定、新堤緑地、いわゆる荒川堤の桜の植え替え、公園整備の際の植樹や芝生化などにも活用していく。

(所管課・公園緑地課)



## 9月定例会日程(予定)

8月

### 30日(水)本会議

- ・開会
- ・会期の決定
- ・諸報告
- ・市長の提案理由説明
- ・全議案の上程
- ・議案説明等

9月

### 4日(月)本会議

- ・議案に対する質疑
- ・委員会付託等

### 5日(火)委員会

- ・総務文教常任委員会
- ・環境産業常任委員会

### 6日(水)委員会

- ・市民福祉常任委員会
- ・都市建設常任委員会

### 11日(月)一般質問

### 12日(火)一般質問

### 13日(水)一般質問

### 19日(火)本会議

- ・各委員長報告
- ・質疑
- ・討論
- ・採決
- ・閉会

- ※本会議、一般質問は傍聴できます。
- ※開会は原則午前10時です。
- ※議事の進行上、休憩が入る場合があります。
- ※日程は変更になる場合があります。詳しいことは、議会事務局にお問い合わせください。

熊谷市議会事務局  
 TEL 048-524-1573 (直通)  
 FAX 048-525-8886  
 E-mail : gikaijimukyoku@city.kumagaya.lg.jp

## 議会を傍聴してみませんか？



市議会は年4回(3月・6月・9月・12月)定例会を開催しています。(特に必要がある場合は臨時会が開催されます。)

議会では市民の皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。市政を知る良い機会として、お気軽に足を運んでみませんか？お待ちしております。

- 議会は市役所の議会棟内の議場で開催されます。
- 傍聴は、市役所1階傍聴者席入口(長寿いきがい課隣)からお入りいただき、受付にて必要事項(住所、氏名)をご記入後、傍聴席で行っていただきます。
- 傍聴は無料です。また、会議中の傍聴席への出入りは自由にできます。
- 傍聴席での飲食、喫煙、携帯電話の使用、写真・ビデオ撮影や録音はできません。

## 政務活動費の使用状況について 領収書等の公開をはじめました

これまで熊谷市議会では、政務活動費の会派支給分に係る収支報告書を市議会ホームページで公開していましたが、さらなる透明性の確保を図るため、平成28年度支給分から会派及び議員個人支給分それぞれの収支報告書とともに領収書の写しをホームページで公開しています。

### 政務活動費とは

議員の調査研究その他の活動に資するため、会派及び議員に対し、必要な経費の一部として交付されるものです。

会派：所属議員の数に年額190,000円を乗じた額  
 議員：月額15,000円

## 編集後記

ここに、市議会だより第48号をお届けいたします。

本号では、議長、副議長、各常任委員会委員、議会運営委員会委員の選出をはじめ、3つの特別委員会の設置、一般質問や各常任委員会質疑等、6月定例会での議会の活動などについて掲載いたしました。

8月11日には熊谷スポーツ文化公園において、パナソニック ワイルドナイツと、ニュージールランドの強豪チームであるハイランダーズの国際交流試合が予定され、いよいよラグビーワールドカップ2019が近づいてきたと実感できます。

市議会としても、大会の成功に向け、市民のみなさんと一致団結してまいります。これからも、より身近な、そして、わかりやすい市議会だよりを目指してまいります。

## 議会報編集委員会

- ◎須永 宣延 ○黒澤三千夫
- 大久保照夫 新井 正夫
- 森 新一 桜井くるみ
- 守屋 淳 小島 正泰
- 腰塚菜穂子 鈴木 理裕
- (◎委員長 ○副委員長)

